

第16回 ワイン研究会 報告



今日も笑顔でかんば～い！！

*「ワイン研究会」の第16回例会を5月15日(金)に開催しました。

日時 平成27年5月15日 15時—17時

場所 カフェ「カサグランデ」(西武多摩湖線一橋学園駅傍)

出席者 荒木、井垣、伊藤(徹)、小川、栗原、佐藤(俊)、志村、滝沢、富平、野村、馬場、山本、以上12名(敬称略)



* 第16回ワイン研は、すっかり例会の定番になったコノ スル スパーリング(チリ)の乾杯で始まった。今回の持ち寄りワインは、前回からの持ち越し分を含めてフランス、イタリア、ポルトガル、日本産など白・ロゼ・赤の各種ワイン9本がテーブルにすらりと並んで、相変わらずの賑やかさ。

* 席をトランプで決める方式にして5回目のこの日、ジョーカーを引いた世話役はなんと早くも2度目という小川&富平さん。早速冷えたイタリア白ワインからを開けて飲み比べのスタート。皆さんのグラスに注いでまわった小川さん、自分のところに戻ったときには残り少なくなつていて大慌て。早速「少なめに注いでおいて残ったら注ぎ足すのがコツだよ！」と先輩から声が…。

世話人さんがワインを選びます

* 白ワインに次いで2本のロゼを賞味する。ご存じ、ポルトガルのマテウスロゼ。次いで「小樽市の人々へ」と銘打った特別限定の小樽ワイン。「私、“特別限定”と言う言葉にに弱いんデス！」とは持参の荒木さんの弁。

* 「ワイキキタイム」、今日のテーマは「マリアージュ」。家飲みの場合の料理とワインの組合せを、「きんぴらごぼう」「さんまの塩焼き」には「赤」、「湯豆腐」には「白」などと例示する資料を読んで、「その料理ならワインでなく日本酒でしょ！」と思わず本音をもらす会員も…。



今日も真剣にワイキキタイム「マリアージュ」の勉強中

* トスカーノやシチリア産のイタリアワインが多かった今回、唯一のフランスワインがシモン・ビーズの「ブルゴーニュ・レ・ベリエール」。ブルゴーニュの小さなサビニ村のこのワイナリーの4代目オーナー夫人・ビーズ千砂さんはブルゴーニュで最も知られた日本人と言われている。千砂さんの親戚と友人の中野稻門会女性会員からワイン研へのプレゼントだとか。



話題はいろいろ…楽しみもいろいろ…人生楽しいのが一番！ですよね

* この日の注目はワインもさることながら3回に分けて出された「カサグランデ」心尽くしの料理だった。白ワインを飲んでいるときに出された和風の料理は、当店のオーナー夫人が自宅庭で摘んだ新鮮な蕗(ふき)とシタケを使った若き女性スタッフの創作という。赤ワインを飲むころには、「ポテトを挟んだパイ」や「肉のソテイ」が運ばれてワインの味も一層ひきたって会員も大喜び。

* すっかり料理とワインのマリアージュを楽しみながら会話を弾み、あげくに六大学ワセダ優勝への期待から新監督論、さらにはこの日プロ初先発となるルーキー有原(日ハム)の話題など、前日のニモクサロンの続編となって賑やかだったが、つい話に引き込まれた荒木さん、メインディッシュの料理の写真を撮るのを忘れるというおまけまでついた。スミマセ～～ン！(-_-)



蕗と椎茸の日本風料理



ポテトのパイ包み



肉ソテーとクレソンは皆さんのお腹の中に入ってしまいました(。.)

* コーヒータイムが迫るなか、結局この日も空にしたボトルは8本。1本を次回の楽しみにして5月例会は終了した。



参考 ボトルの写真左から

- ・コノスル・スパークリング（チリ）
- ・テツレ・デレ・カルマラ（イタリア）
- ・小樽市民の皆様へ（日本）
- ・マテウス ロゼ（ポルトガル）
- ・チェツツバイアーノ・キャンティイー（イタリア）
- ・チロ ロッソ・テツレ デレ カターレ（イタリア）
- ・ブルゴーニュ・シモンビーズ（フランス）
- ・井筒ワイン・コンコード（日本）

* その後前日の「カラオケの会」参加の5名を含めて9名がさらに1時間半、ソフトドリンクでワインの酔いをさましながら、いつものとおり熱唱したという。

（文 井垣 写真 荒木）



次回の第17回例会は、6月19日(金)。「カサグランデ」で。会費は2,000円+任意のワンコイン寄付です。

会員制ではありませんので、当日ワインを楽しみたい方、どなたでも歓迎。手ぶらで気軽にご参加ください。

ただし、準備の都合あり、6月14日(日)までに井垣(090-1196-1471)に参加申し込みの上、ご出席ください。